

東洋産業だよりのバックナンバーは、ホームページでご覧いただけます。

□ トピック □ この時期になぜ大型昆虫が？

気温が下がり、外部で虫を見かけなくなってきましたが、時々大型の昆虫がひょっこり発見されて驚かされている場面を見かけます。冬には日本に生息する大型の昆虫のほとんどは越冬状態にあり、野外での活動はしていないはずですが、なぜでしょう？

原因としては、越冬せずに屋内で活動しているか、春と勘違いして目覚めてくるということが挙げられます。前者であれば大型のゴキブリ類がこれにあたります。後者には大型カメムシ、フクラスズメ、スズメバチやアシナガバチの新女王、ムカデ類がいます。刺咬被害や異物混入などの被害は減少する時期ですが、窓やドアのサッシ、カーテンの裏や天井裏などではこういった虫が時々見られ、問題を起こすこともあります。

こういった生物は常にそこに居ついているわけではなく、たまたまいることも多くありますが、毎年繰り返すような場所や一度そういう実績があった場所に関しては、来年度以降の冬の前に何らかの対策を打ったほうがいいかもしれませんね。



チャパネアオカメシ

- 分類:カメムシ目カメムシ科
- 食性:幼虫はスギやヒノキの球果を加害。成虫になると、果樹を加害する農業害虫。
- 日本での分布:日本全土

□ お知らせ □ スプレータイプ殺虫剤のもう一つの効能



C&C処理

わずかな隙間でも生息できるゴキブリを駆除するために、クラックや器具のつなぎ目などに殺虫剤を注入する方法。あぶりだしに使用する場合もある。

現在市販されているスプレータイプの殺虫剤にはピレスロイド系の殺虫成分が含まれているものが多くあります。このピレスロイド系の殺虫剤は、その起源をたどっていくと除虫菊という植物から分離されたもので、蚊取り線香の原料でもあったものです。現在はほとんどが化学合成のピレスロイド剤ですが、他の殺虫剤よりも比較的人畜への安全性が高いことと、虫に対する高い忌避効果(虫が嫌がって近づかない効果)が特徴の一つです。

この高い忌避効果を持つという特徴から、虫を近づかせたくないところなどに塗布しておくことで、一定の予防効果を得られることもあります。上記のように害虫に越冬場所に選ばれやすく、物理的に防除することが困難なところに関しては、予防の意味での一つの対策となりえます。市販のものであればピンノズルのついたものは局所的に吹き付けやすく、量の調節もしやすいのでお勧めです。

一方で、汚れの付着が多くなることや持続期間やその効果がわかりづらいというデメリットもありますが、ご心配なところには一度お試しになられてはいかがでしょうか？

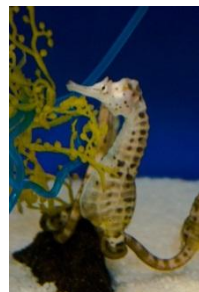
□ 豆知識 □ 今年の干支は「辰」

あけましておめでとうございます。今年の干支辰(たつ)ですね。十二支の中で、唯一架空の生物ということですので、タツノオトシゴをあてているところもあります。

さて、このタツノオトシゴですが、分類的にはトゲウオ目ヨウジウオ科タツノオトシゴ属というものに属する魚類の一種です。また、形も変わっていますがその子育ても変わっており、オスのお腹に育児嚢があり、メスはオスのお腹に産卵を行い、孵化するまでオスが自分のお腹の中で子供たちを守ります。孵化した子供たちはすでに親と同じ形で、そのまま旅立っていきます。

変わった形で愛らしい動きのため愛好家もいて、細々と飼育もされていますが、飼育は非常に困難で、さらに種によってワシントン条約に入れるという提案がなされるように、数も少なく珍しいものもいます。とはいえ、瀬戸内海などでも時々目にすることができ、干潟などでアマモなどの海藻があるところであれば、網などで捕獲することもできます。

「辰」が今年の干支であることから、各地の水族館などでも縁起物ということで特別展示などが行われることだと思います。ご興味のある方は一度ご覧になってはいかがでしょうか？



タツノオトシゴ

- 分類:魚類
- 食性:プランクトン、小魚など
- 寿命:野生では1~5年程度
- 体長:1.5~35cm
- 日本での分布:北海道南部以南



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)